



刊夕 行發日九十月五

### 土屋文明氏の歌

木村源正

『往還集』は土屋文明氏の第二歌集で、大正十四年から昭和四年迄約十五年間の歌を集め、アララギ叢書第四三編として、岩波書店から刊行されたものである。アララギが歌壇の主潮流となつて以來十年、茂吉文の歌は更にアララギ誘導の方向を示してきたことは言ふまでもないこと、如何に『往還集』が大なるエポックをアララギの歌壇に劃してきたかは、容易に観取するに難くないのである。實相観人、寫生本道から更に一步あらししく現實主義、踏み出した足跡は明日の歌壇に示標たる許りでなく、忠實なる作歌精神の發露であつた。このあららしまし、現實主義の足跡を、私達も容易に『往還集』にみることが出来るのである。

### 新歌壇

小山田滋選

○店の出氣には、これほどおのづから街に出たとき夜頭となりぬ  
○汽車の旅 (其二)  
○少なる夜汽車の人ら皆黙して居るがさびしく煙草を喫ふも歸省  
○江戸川も過ぎれば心落着きてふるさとの空戀しなりぬ

### 童話

鯉淵武司

黄色くなつて一「つむじ風だ、つむじ風だ」  
「あつて、あつて、そこをよと動いて、そこに」  
「よと動いて、そこに」  
「あつて、あつて、そこに」  
「よと動いて、そこに」

### 詩

雲雀  
高橋わたる

たい悲痛もつと堆へてまた  
ざらざらと強き意志  
かほらざりけり  
この世として生活に直  
面する裸の姿こそ其の骨  
髄であると思ふ。微塵だ  
に妥協も偽りも逃癖も許さ  
ぬ真剣な生活態度、自己疑  
問の冷徹をみよ!

### 小説

藤田小四郎は憤激の絶頂  
に達した態度になつて了つ  
た。



藤田小四郎は憤激の絶頂に達した態度になつて了つた。藤田小四郎は憤激の絶頂に達した態度になつて了つた。藤田小四郎は憤激の絶頂に達した態度になつて了つた。

胃腸科 専門 院醫科村松

移轉廣告 佐藤福太郎

五月人形 菅野屋商店

五月節句祝品大賣出し 水光齋祐月特作品

共濟病院案内

小兒科・内科 渡邊醫院

市原醫院

懸賞尋ね自轉車

渡部外科

